

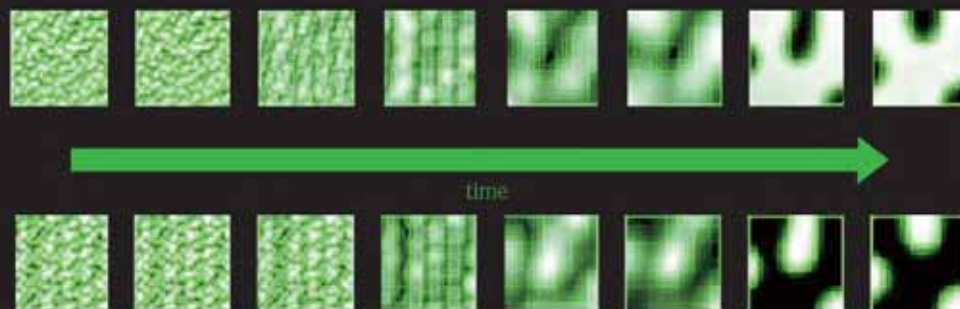
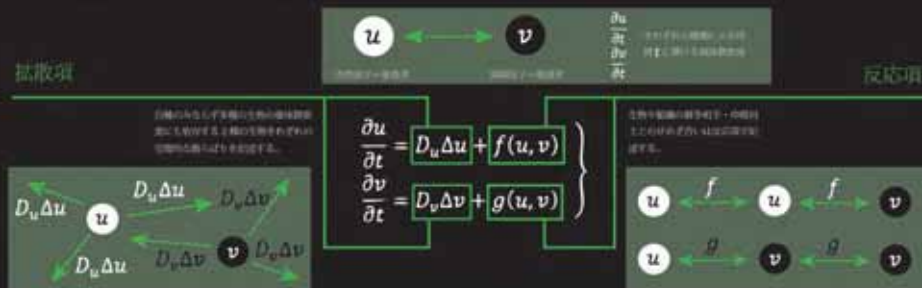
すべての現象が数学的であることは、「エントロピー増大の法則」と同じ、物理法則の一例として現象を説明した法則に過ぎないように思える。物理法則に過ぎない。ゆえに、このエントロピー増大の法則が神の存在、あるいは証明される。

[illegible]

乗をつくる。

反应速率方程式

「ナスル」の発行を機に地方刊行物にも目を向けた。コンピュータの登場を主とした電子版「デジタル・バージョン」が1982年に登場した。同版は数回刊行された後、1984年に4冊目まで出版された。その後、同版は「ナスル」の増刊として不定期に発行された。

[illegible][illegible]

[illegible]

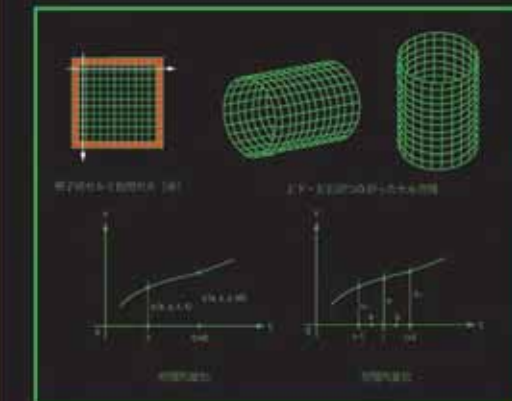
政治制度として行方不明の国境は小さく、故郷に入ると生活の中心を置く。内政を多岐にわたる組織で支えるように、国境が国境に集約し、内政が国境に集約する。国境に集約する生活の本質は、**小さな秩序**をつくる。

変数 $u(x, y, z, t)$, $v(x, y, z, t)$ は x, y, z, t の関数で、 $u(x, y, z, t)$, $v(x, y, z, t)$ の偏微分係数は、

すなわち、 δ は原子核の質量数 A で正比例する (式 (1)) に比例し、 δ の値は陽子数 Z 、 N によって異なり、 δ といふ核の固有の性質である。すなわち、 δ は陽子数 Z 、 N の関数である。

[illegible]

$$\begin{array}{lll} u_{i,j,k} = u_{i,n,k} & u_{i,j,n} = u_{i,j,n} & u_{0,j,k} = u_{n,j,k} \\ u_{i,n+1,k} = u_{i,1,k} & u_{i,j,n+1} = u_{i,n,1} & u_{n+1,j,k} = u_{1,j,k} \\ v_{i,j,k} = v_{i,n,k} & v_{i,j,n} = v_{i,j,n} & v_{0,j,k} = v_{n,j,k} \\ v_{i,n+1,k} = v_{i,1,k} & v_{i,j,n+1} = v_{i,n,1} & v_{n+1,j,k} = v_{1,j,k} \end{array}$$



$$\begin{aligned}\frac{\partial u}{\partial t} &= \frac{u(x, y, z, t + \Delta t) - u(x, y, z, t)}{\Delta t} = \frac{u_{i,j,k}^{t+\Delta t} - u_{i,j,k}^t}{\Delta t} \\ \frac{\partial v}{\partial t} &= \frac{v(x, y, z, t + \Delta t) - v(x, y, z, t)}{\Delta t} = \frac{v_{i,j,k}^{t+\Delta t} - v_{i,j,k}^t}{\Delta t}\end{aligned}$$

$$\Delta u = \frac{\partial^2 u}{\partial x^2} + \frac{\partial^2 u}{\partial y^2} + \frac{\partial^2 u}{\partial z^2}$$

$$\left(\frac{\partial u}{\partial x}\right)_x = \frac{u_{i,j,k} - u_{i-1,j,k}}{h}$$

$$\left(\frac{\partial u}{\partial x}\right)_y = \frac{u_{i+1,j,k} - u_{i-1,j,k}}{h}$$

$$\left(\frac{\partial \ln \bar{L}}{\partial \ln \bar{L}_0} \right)_T = \frac{\left(\frac{\partial \bar{L}}{\partial \bar{L}_0} \right)_T - \left(\frac{\partial \bar{L}}{\partial T} \right)_{\bar{L}_0}}{\bar{L}_0}$$

$$\begin{aligned} f(u, v) &= -uv^3 + a(1 - u) \\ g(u, v) &= uv^2 - bv \end{aligned}$$

$$\left. \begin{aligned} \frac{u_{j+1}^{n+1} - u_{j+1}^n}{\Delta t} &= D_u \Delta u + f(u, v) \\ \frac{v_{j+1}^{n+1} - v_{j+1}^n}{\Delta t} &= D_v \Delta v + g(u, v) \end{aligned} \right\}$$

$$\begin{aligned} u_{i,j,k}^{n+1} &= u_{i,j,k}^n + (D_u \Delta u + f(u, v)) \Delta t \\ v_{i,j,k}^{n+1} &= v_{i,j,k}^n + (D_v \Delta v + g(u, v)) \Delta t \end{aligned}$$

$$\frac{\partial^2 w}{\partial x^2} = \frac{w_{i+1,j} - 2w_{i,j} + w_{i-1,j}}{\Delta x^2}$$

$$\frac{\partial^2 u}{\partial x^2} = \frac{u_{i,j+1,k} - 2u_{i,j,k} + u_{i,j-1,k}}{\Delta x^2}$$

$\frac{dy}{dt} = \frac{1}{2}y^2$

$$\frac{\partial \ln L}{\partial \theta} = \frac{m_1(j, \theta) - m_1(j-1, \theta)}{h^2}$$

$$\Delta u = \frac{u_{i+1,j} + u_{i,j+1} + u_{i,j-1} + u_{i-1,j} + u_{i,j+2} + u_{i,j-2} - 6u_{i,j}}{\Delta x^2}$$

$$A_{ij} = \frac{W_{i+1,j} + W_{i,j+1} + W_{i,j+1} + W_{i-1,j} + W_{i,j-1} + W_{i,j-1} - 6W_{i,j}}{12}$$

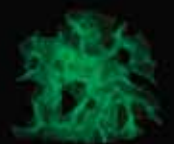
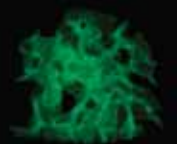
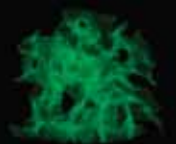
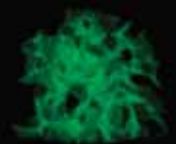
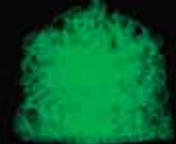
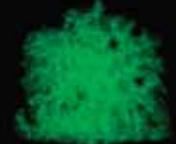
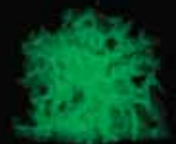
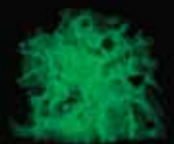
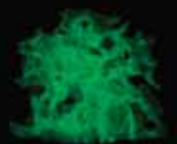
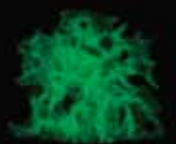
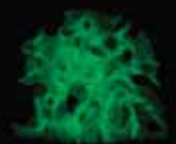
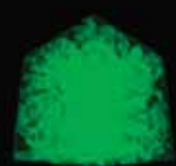
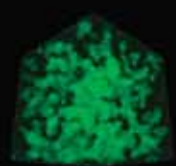
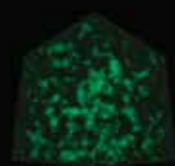
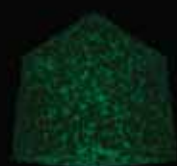
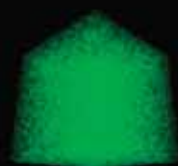
アルゴリズム

Algorithm

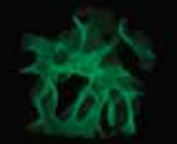
α -DGLF data represent processing (mean) $\pm$ SE ($n = 32$, $m = 4$).



Start



End



エデン境界生成過程

区切るのではなく、混ざる。

これまでの敷地を決め、その上に設計する方法ではなく、設計する空間を世界から抽出し、その空間内で区切るのではなく混ざる。

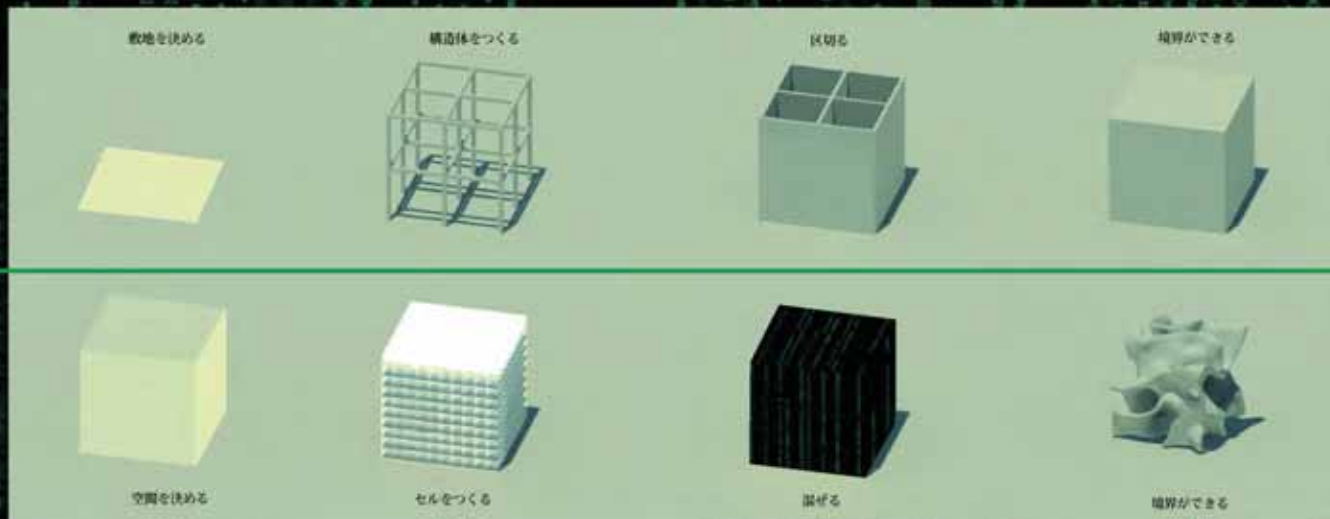
世界を混ざる。

世界には混ざるべきものがたくさんある。対立関係にあるものや、そうでないもの・・・もともと世界は1つだった。そして今は2つ以上。世界の構成要素の最小は「2」。

可視化された世界の隙間に境界を発生させる。

u と v、2つの系は可視化される。2つの系の隙間に境界が発生する。

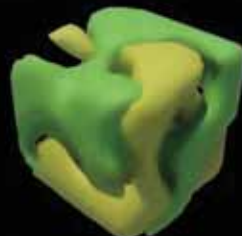
そこは1つの世界。



u の世界



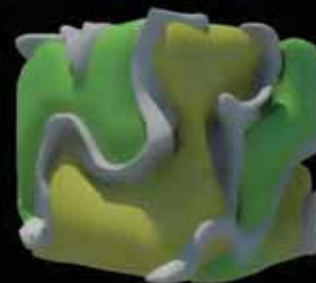
v の世界



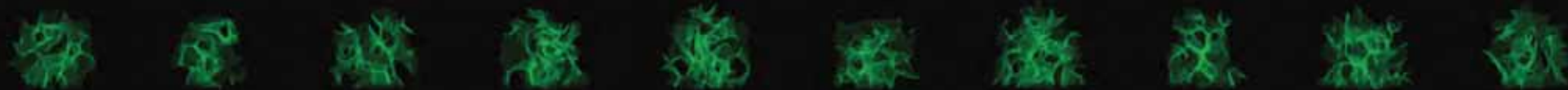
2つの世界



その隙間に発生する境界



1つの世界



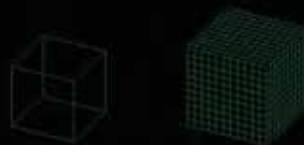
n = 60 のとき生成される様々な形態

小さな秩序が全体をつくりだす。

生成される形態は唯一の形態。決して同じものは存在しない。それはまるで大地のようなそこだけに存在する形態。

生成された形態の複雑さはセルの数によって決まる。「複雑さ」というあいまいなものを数値化し、つくり出せる。

部分が全体に影響し、全体が部分に影響する。



n = 15

n = 30

n = 60

n の違いによって定義される複雑さ



スケールによって変わる世界。

人間はなぜそんなにおかしいのか。そして、建築はなぜそんなに大きくなくてはならないのか。スケーリングは世界はかわるのか。

1つの世界は大きな世界、1つの世界は小さな世界、2つの世界は決して変わらない。世界を軸で見て...



共界線



S = 1/400 & 1/100



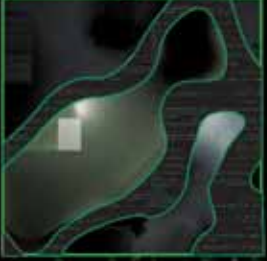
+5,750



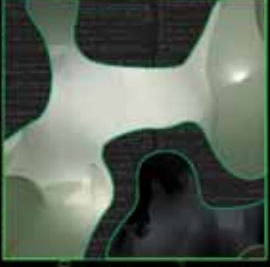
S = 1/400 & 1/100



+7,500



+30,000



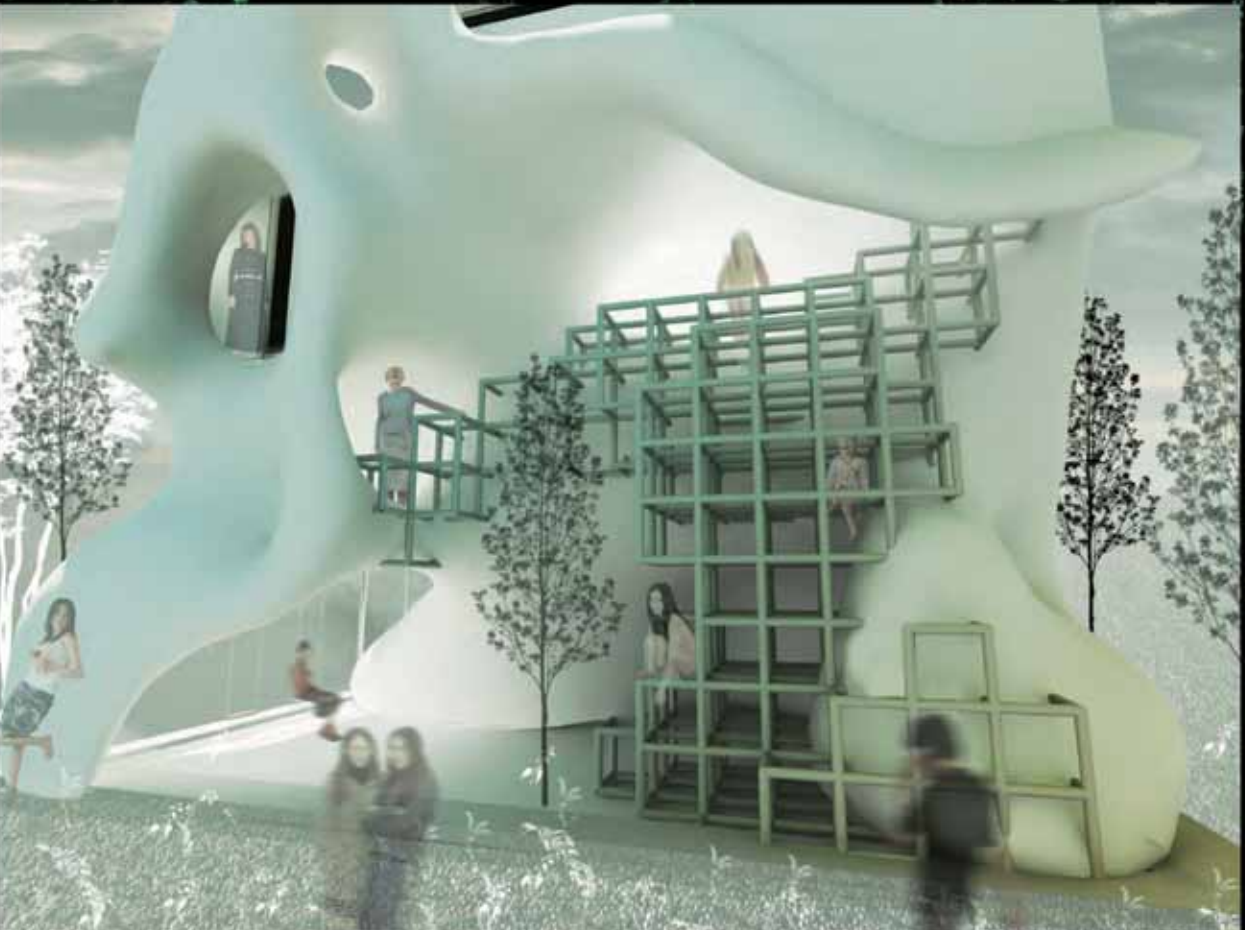
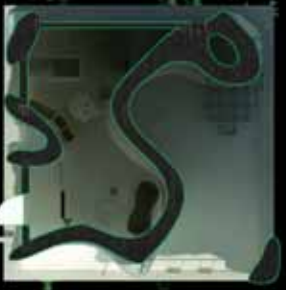
+19,000

section

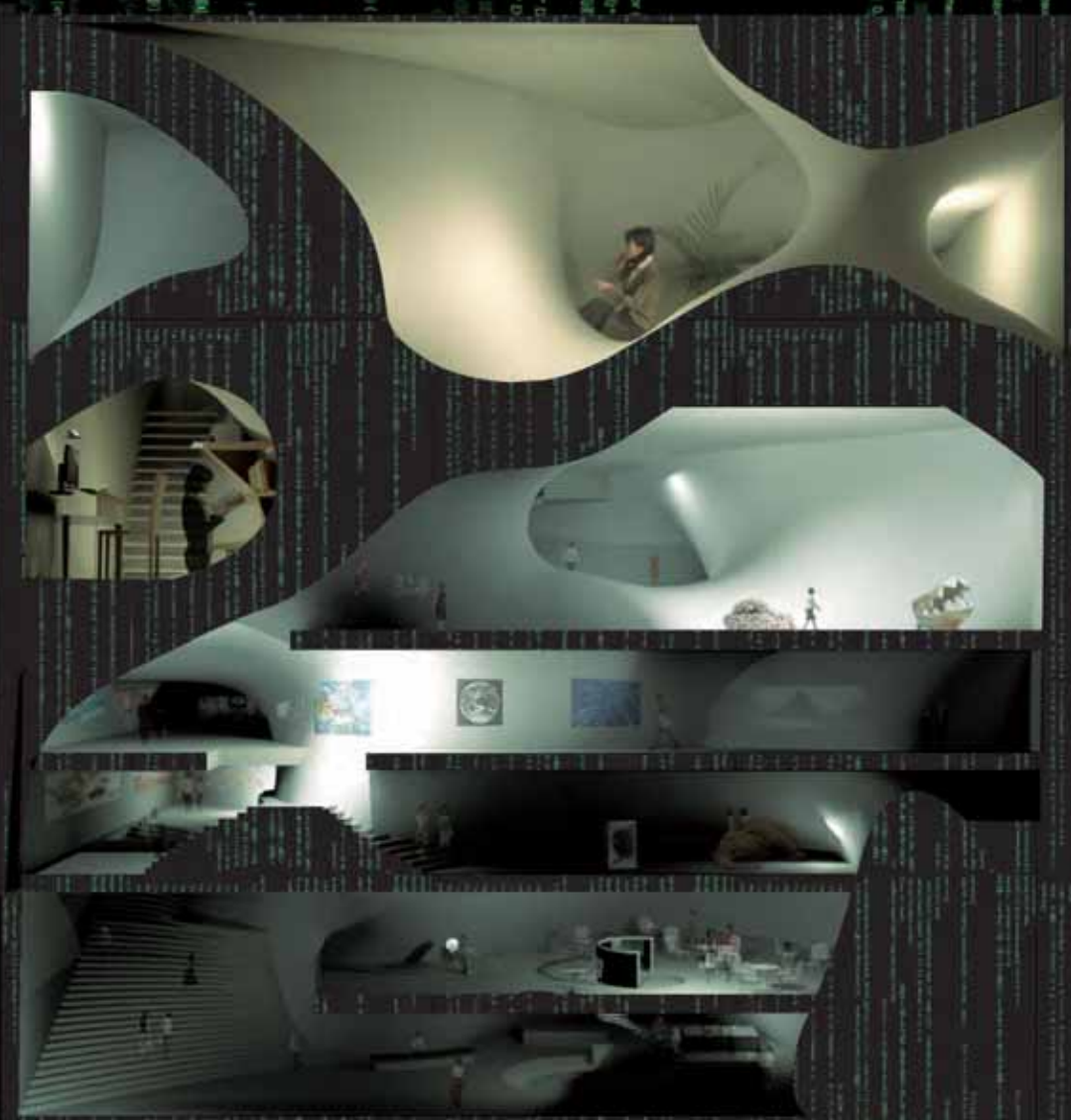
plan

S = 1/800

S = 1/200



住宅と公園の境界
外と中は混ざり合う。



共界图

west



east



south



north



$$S = 1/75$$

$$S = 1/100$$

section

elevation



section



S = 1/400 & 1/100

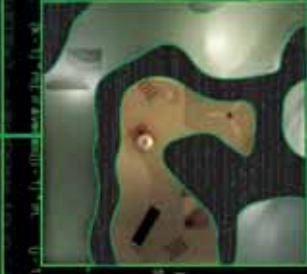


+0.000

$$S = 1/800$$

$$S = 1/200$$

plan



+3,500



+8,000

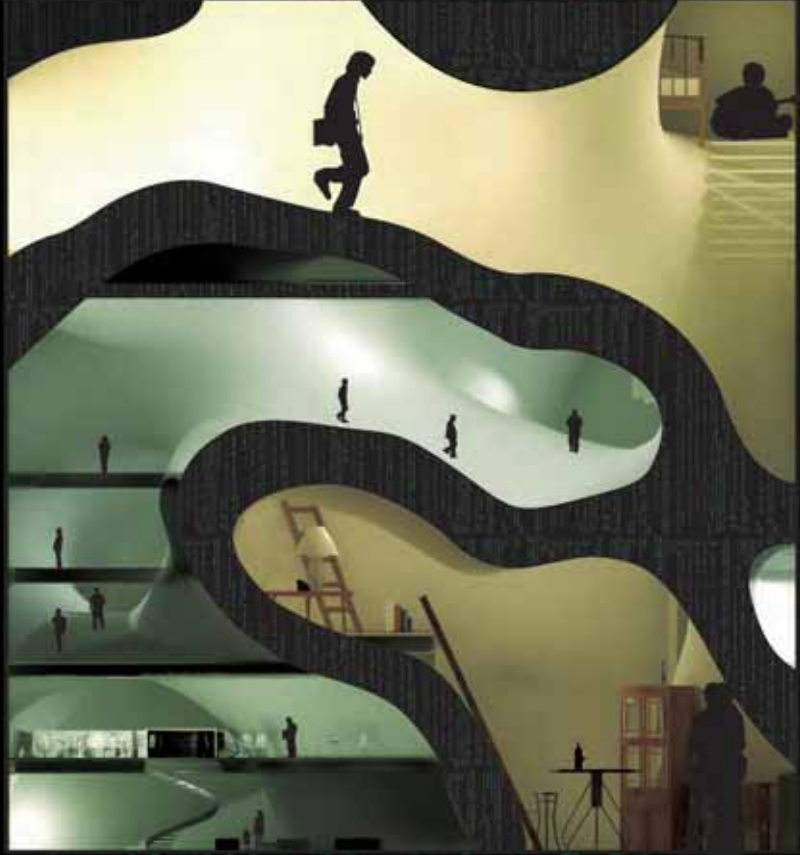


+0.000



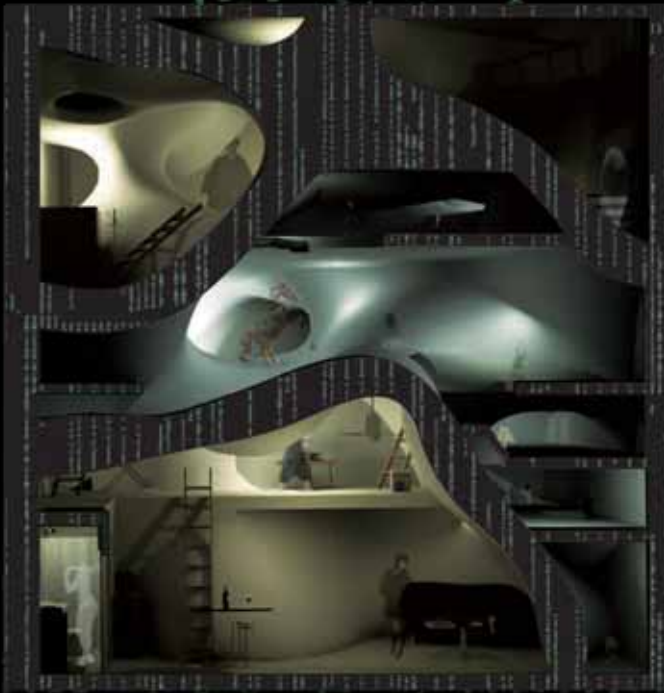
+1,000

共界線



S = 1/266.6 & 1/66.6

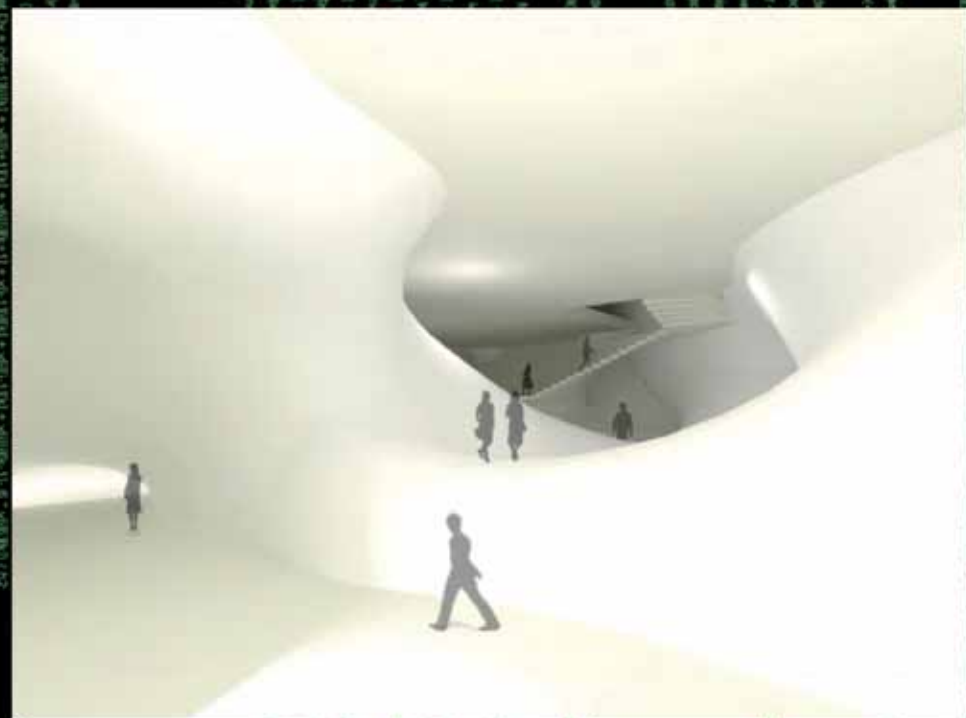
共界





共界線





共界線

